

Biz Box ルータ「NVR510」

Rev.15.01.12（メーカーRev.15.01.10含む）

ファームウェアリリースノート

以下のとおり機能追加・仕様変更・機能改善が行われました。

---

○NVR510 Rev.15.01.09 からの変更点

---

#### ■機能追加

[1] 本機にアクセスするときのセキュリティーを強化した。

(1) login password [encrypted]コマンド、 administrator password [encrypted]コマンド、 login userコマンドを設定したときにパスワード強度を出力するようにした。

パスワードを空に設定した場合は、設定を促すメッセージを出力するようにした。

- パスワード未設定

"Password is not set. Please set the password in order to enhance the security."

- パスワード強度 弱

"Password Strength : Weak"

- パスワード強度 中

"Password Strength : Fair"

- パスワード強度 強

"Password Strength : Strong"

- パスワード強度 最強

"Password Strength : Very strong"

(2) シリアル、TELNET、SSH、リモートセットアップで、login passwordコマンドの設定値が工場出荷状態のまま無名ユーザーがログインしたときに、以下のメッセージを出力するようにした。

"The login password is factory default setting. Please request an administrator to change the password by the 'login password' command."

(3) シリアル、TELNET、SSH、リモートセットアップで、administrator passwordコマンドの設定値が工場出荷状態のままadministratorコマンドで管理者権限に昇格したときに、以下のメッセージを出力するようにした。

"The administrator password is factory default setting. Please change the password by the 'administrator password' command."

(4) 以下の手段でログインに3回連続で失敗したら1分間ログインできなくなるようにした。

- シリアルコンソール
- リモートセットアップ
- TELNET
- SSH
- SFTP

アクセス制限時の動作は以下の通り。

- アクセス制限は接続種別ごとに行われる  
ただし、TELNETとSSHに関しては接続元IPアドレスごとに制限される
- アクセス制限がかかったときは、以下のINFOレベルのSYSLOGを出力する

"Login access from 接続種別 was restricted. [: IPアドレス]"

- 接続種別は"Serial", "Remote", "TELNET", "SSH"のいずれか
  - IPアドレスはTELNETまたはSSHのときに表示される
  - アクセス制限中にログインしようとする、コンソールとSYSLOGには以下のメッセージを出力する
- ユーザー名は無名ユーザー以外でアクセスしたときに表示される

コンソール : "Error: Login access is restricted."

SYSLOG : "Login failed for 接続種別[: IPアドレス [ユーザー名]]"

(5) Web GUIへのログインに3回連続で失敗したら1分間ログインできなくなるようにした。

アクセス制限時の動作は以下の通り。

- アクセス制限はクライアントのIPアドレスごとに管理される
- ステータスコード403を返し、アクセス制限中であることを表示する
- アクセス制限がかかったときは、以下のINFOレベルのSYSLOGを出力する

"Login access from HTTP was restricted. : IPアドレス"

- アクセス制限中にログインしようとする、SYSLOGには以下のメッセージを出力する

"Login failed for HTTP: IPアドレス"

(6) Web GUIにメッセージボード機能を追加した。

ログインパスワードまたは管理者パスワードが工場出荷状態のままログインしたとき、メッセージボードに警告が表示される。

- (7) Web GUIにアクセスし、ログインしないで認証ダイアログを閉じたときに表示されるページを「Error 401」に変更した。
- (8) 工場出荷状態の設定にtelnetd host lanコマンドを追加した。
- (9) pptp hostnameコマンドの初期値を機種名から空文字("")にした。
- (10) PPTPのベンダー名を設定できるようにした。

#### ○PPTPのベンダー名の設定

##### [書式]

pptp vendorname NAME

no pptp vendorname

##### [設定値および初期値]

NAME

[設定値]: ベンダー名 (64バイト以下)

[初期値]: -

##### [説明]

PPTPベンダー名を設定する。

##### [ノート]

本コマンドで設定した値がStart-Control-Connection-Requestと

Start-Control-Connection-Replyのベンダー名にセットされる。

本コマンドが設定されていないときはベンダー名に空文字がセットされる。

NVR510 Rev.15.01.10以降のファームウェアで使用可能。

それ以外のファームウェアではベンダー名に"YAMAHA Corporation"がセットされる。

- (11) HTTPレスポンスヘッダから、機種を特定できる文字列を削除した。

変更前

Server: 機種名

WWW-Authenticate: Basic realm="[機種名]"

変更後

Server: Route

WWW-Authenticate: Basic realm="[Router]"

[2] モバイルインターネット機能で、以下のデータ通信端末に対応した。

- NTTコム UX302NC-R

- ソフトバンク 604HW v1.04以降

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/mobile-internet/index.html>

外部仕様書をよくご確認ください。

## ■仕様変更

[1] 以下のデータ通信端末を使用するとき、show status usbhostコマンドでデータ通信端末のRevisionを表示するようにした。

- NTTコム UX302NC

[2] モバイルインターネット機能で、NTTコム UX302NCの網からの切断処理を変更した。

## ■バグ修正

[1] モバイルインターネット機能のPPインターフェース接続で、網への接続ができなくなることがあるバグを修正した。

[2] ひかり電話の追加番号で発信した場合に、着信側の設定によりボイスワープで転送された

ときに、転送先の番号表示に契約者番号が表示されるバグを修正した。

[3] L2TP/IPsecで複数のトンネルが設定されているとき、以下の条件をすべて満たす場合に

事前共有鍵が短い方のトンネルが接続できなくなることがあるバグを修正した。

- 事前共有鍵の長さが異なるトンネルが存在する
- 長い方の事前共有鍵の先頭に短い方の事前共有鍵が含まれている

[条件と合致する設定例]

- 例1

トンネル1の事前共有鍵: AAAA

トンネル2の事前共有鍵: AAAABBBB

- 例2

トンネル1の事前共有鍵: ABCD

トンネル2の事前共有鍵: AB

例1では、トンネル1が接続できなくなることがある。

例2では、トンネル2が接続できなくなることがある。

[条件と合致しない設定例]

- 例1

トンネル1の事前共有鍵: AAAA

トンネル2の事前共有鍵: AAAA

- 例2

トンネル1の事前共有鍵: AB

トンネル2の事前共有鍵: ACB

- 例3

トンネル1の事前共有鍵: AAAA

トンネル2の事前共有鍵: BBBBAAAA

[4] ごく稀にTask time exceed(9)でリブートすることがあるバグを修正した。

[5] TELポートに繋がった機器から発信し、発信放棄と着信側のオフフックが同時に発生すると、  
機器によっては発信側で着信があるまでそれ以降の発信ができなくなることをあるバグを修正した。

[6] VoIP機能で、接続後すぐに不要なRTPパケットを1つ送信するバグを修正した。

-----